

富岡地域づくり 協議会だより



第6号
平成28年4月8日
広 報 委 員 会
<http://www.town-tomioka.click/>

富岡地区ウォークラリー大会開かる

3月12日(土)8時より富岡まちづくりセンター駐車場をスタート・ゴール地点に、第2回富岡地区ウォークラリーが開催されました。

昨年^{かんが}の実績に鑑みつつも、基本的にコースの巡視・踏査・検討等をはじめ実施方法等々の詳細についても^{けみ}関し、精査・検分した上で決定したものです。昨年いただいた



ご意見・ご要望も加味し、対応すべきものについては改善を施したものもあります。ただし、昨年作成した横断幕等については再活用・転用・兼用し、必要経費の削減等も図っています。

尚、昨年もトイレや休憩所等の利用を引き受けていただいた施設・設備・営業所・小売店・店舗等には本年も快くご協力をいただきました。^{ちゅうしん}衷心より御礼申し上げます。また、チラシ等でこの事業を確認いただいて、新たにご協力の提案や物資のご提供をいただいた方や会社・企業等ありました。ありがたくお受けいたしました。ここにご報告いたします。

さて、昨年につづき400名程の参加者を得て開会式がスタートしました。本開会式には、藤本市長、地元市議会議員をはじめとする多数のご来賓のご参会をいただき、激励の言葉もいただきました。

スターターの合図と藤本市長及びトコロん等の見送りの中、ウォークラリーへの出発。いよいよ11km・7kmへの挑戦が始まり、歩くことしばしで・・・



2~3時間の走行の後のお腹を満たしながらのクールダウン。主催者より用意されたとん汁及びおしるこを堪能いただけたことと思います。

今年度よりポップコーンとわた菓子の提供もあり、とりわけ子ども達に好評でした。この時間は、歩き終えた充実感・満足感と共に、爽快感も味わえたのではと思います。

そして、昨年も好評だった抽選会。富岡地産のもの・富岡に由来したものを景品として用意したこれも楽しんでいただけたものと思います。

我々実行委員が何よりも気にかけていた安全面についてですが、一部に左側通行をしていた方やコース誘導員の指示に従わない方もいた等の報告もありました。

参加者の自己責任はもとよりですが、更に集団・団体での行動・事業であることへのご理解・ご協力もお願いして、次年度の参加要請に代えたいと思います。



【ウォークラリーの様子】

ウォークラリーの様子を掲載します。



【受付の様子です】



【開会式】



【藤本市長とトコロンが見送り】



【8時。スタート】



【ファミリーコースのスタート】



【チェックポイント 多聞院】



【歩いている様子です①】



【歩いている様子です②】



【三富今昔村さんからお茶と水の差入 感謝】



【抽選会が行われました】



【綿あめが提供されました】



【歩いた後のほっと一息】

＜編集後記＞

「周りの世界が見慣れたものになってくると、時間が速く過ぎ去っていくように感じられる。なるほど、見るものすべてが新鮮な子どもと大人の違いが明らかだ。」山沢清人 高齢の私にとっては、時間があっという間に過ぎ去っていくように思えるのは、なるほど納得のいくことで、まさに光陰矢の如しの実感です。それも、さした充実感・達成感・満足感をもてずに過ぎていく時間が大半で無益に過ごしてしまったかなの後悔しきりなのです。

①新しいことを学び続ける。②新しい場所を訪れる。③新しい人に会う。これらがその対応策だそうです。すなわち、脳の取り込む情報量が多くなり、時間がゆったりとしてくるらしいのです。

ウォークラリーについて、実行委員として縷々議論し、検討し、決定し、準備し、具体的に実行する過程を通し、いい意味での新しい経験ができていのかと思います。時には、思いもよらない課題に直面することもあるからです。

こうした課題に光明が得られたりすると、次もがんばれそうかなと更に背中を押す力になってくれるように思えることがあるからです。時間について考える契機にもなりました。

さて、富岡まちづくりセンターでは、年間を通して様々な事業を行っています。詳細はセンターだよりをご覧くださいと思います。そして、時間をさいいただき、興味に応じて是非多くの事業に参加いただけますようご案内いたします。普段見慣れないものに遭遇できるかもしれません。